

神奈川県新産のコケ植物コバノイクビゴケ

佐々木 シゲ子・平岡 照代

Shigeeko Sasaki and Teruyo Hiraoka: *Diphyscium perminutum*
Takaki Newly Reported from Kanagawa Prefecture

筆者の一人である佐々木は2009年、神奈川県自然誌資料30号に『神奈川県小田原市入生田のコケ植物』の報告をした(佐々木, 2009)。その報告書の中のリストでカシミールクマノゴケ *Diphyscium kashimirensis* (H. Rob.) Magombo (KPM-NC007241, 007242, 007243) とした種、3点は、Noguti (1987), 岩槻 編 (2001), Magombo (2003) との比較再検討の結果、環境庁レッドリストI類(環境庁 編, 2000; 岩月ほか, 2008)であるコバノイクビゴケ *D. perminutum* Takaki であることが判明したので、ここに訂正報告する。本種は日本固有種で、これまでに中部地方以西、四国、九州、琉球列島に分布する(Magombo, 2003; 図1)ことが知られている。今回の報告は神奈川県新産(平岡ほか, 2007)で、分布の東限にあたる。

神奈川県小田原市入生田での本種の生育環境は、確認した3ヶ所とも、陰湿なスギ、ヒノキの混じるスダジイ

を主とした照葉樹林内であり、着生基物はいずれも岩である。特に周りにサワラ、スギ、タブノキ、リョウメンシダ、イノデが生育している陰湿な沢岸にある大きい岩上に生育しているものは、径5~6cmほどの大きな群落になっている。この岩には気孔があり、表面がざらつき、保湿力があるため多種のコケに覆われている。

以下に採集された標本に基づく特徴を記す。

コバノイクビゴケ *Diphyscium perminutum* Takaki (図2)

植物体は3mm以下と小さい。普通葉は線状被針形、先端に向かい細くなり鈍頭、長さ0.5~3.0mm。乾燥時にはカールし、中肋は先端付近まで達する。葉身基部の細胞は一層、上部は二層である。葉身中部細胞はパピラあるいはマミラがあり、方形~矩形、4~6×2~4μm。葉身基部の細胞は平滑、透明で15~55×10~14μm。外雌苞葉は全縁、長さ1.3~2.8mm、巾0.2~0.5mm。

内雌苞葉の基部は全縁、上部に縁毛(シリアル)が密にあり、長さ1.5~3.0mm、巾0.2~0.45mm。ノギは曲がりくねり、鈍い疣があり長さ1.5mm前後。サクは長さ2mm以下、サク柄は長さ0.2mm、巾0.1mm。帽は円錐形、高さ0.7~0.9mm、巾0.3~0.5mm。サクの気孔は上部、サクの口付近にあり表生である。カシミールクマノゴケの気孔はサクの下部にある。

引用文献

- 平岡照代・磯野寿美子・平岡正三郎, 2007. 神奈川県産コケ植物チェックリスト(2007年改訂版). 自然環境科学研究, (20): 101-127.
- 岩月善之助 編, 2001. 日本の野生植物—コケ—. 357pp. 平凡社, 東京.
- 岩月善之助・古木達郎・神田啓史・長谷川二郎・樋口正信, 2008. 蘚苔類レッドリスト, 2007年版. 蘚苔類研究, 9(8): 259-267.
- 環境庁 編, 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物「植物II(維管束植物以外)」。42pp. 環境庁, 東京.

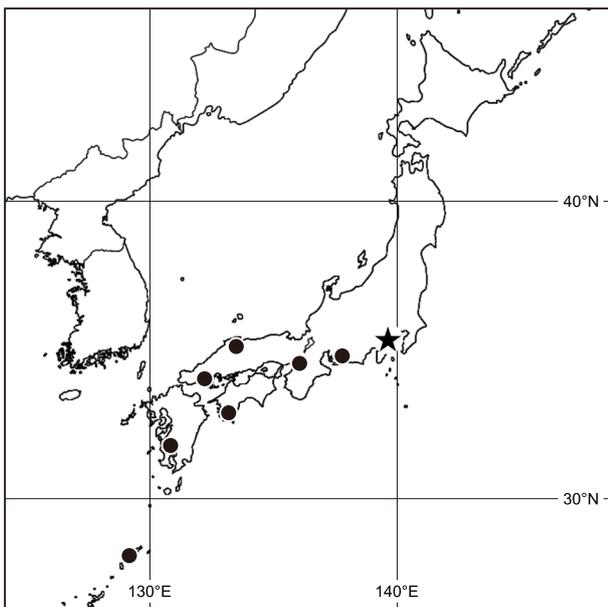


図1. コバノイクビゴケの分布. Magombo, 2003を修正, 加筆. ●: Magombo, 2003による既産地; ★: 本報告による新産地.

Magombo, Z. K., 2003. Taxonomic revision of the moss family Diphysciaceae M. Flesch. (Musci). *Journal of the Hattori Botanical Laboratory*, (94): 1-86.

Noguti, A., 1987. Trated moss flora of Japan.

Part1. 242pp. Hattori Botanical Laboratory. Nichinan, Miyazaki.

佐々木シゲ子, 2009. 神奈川県小田原市入生田のコケ植物. 神奈川県自然誌資料, (30): 17-26.

佐々木シゲ子・平岡照代: 財団法人平岡環境科学研究所

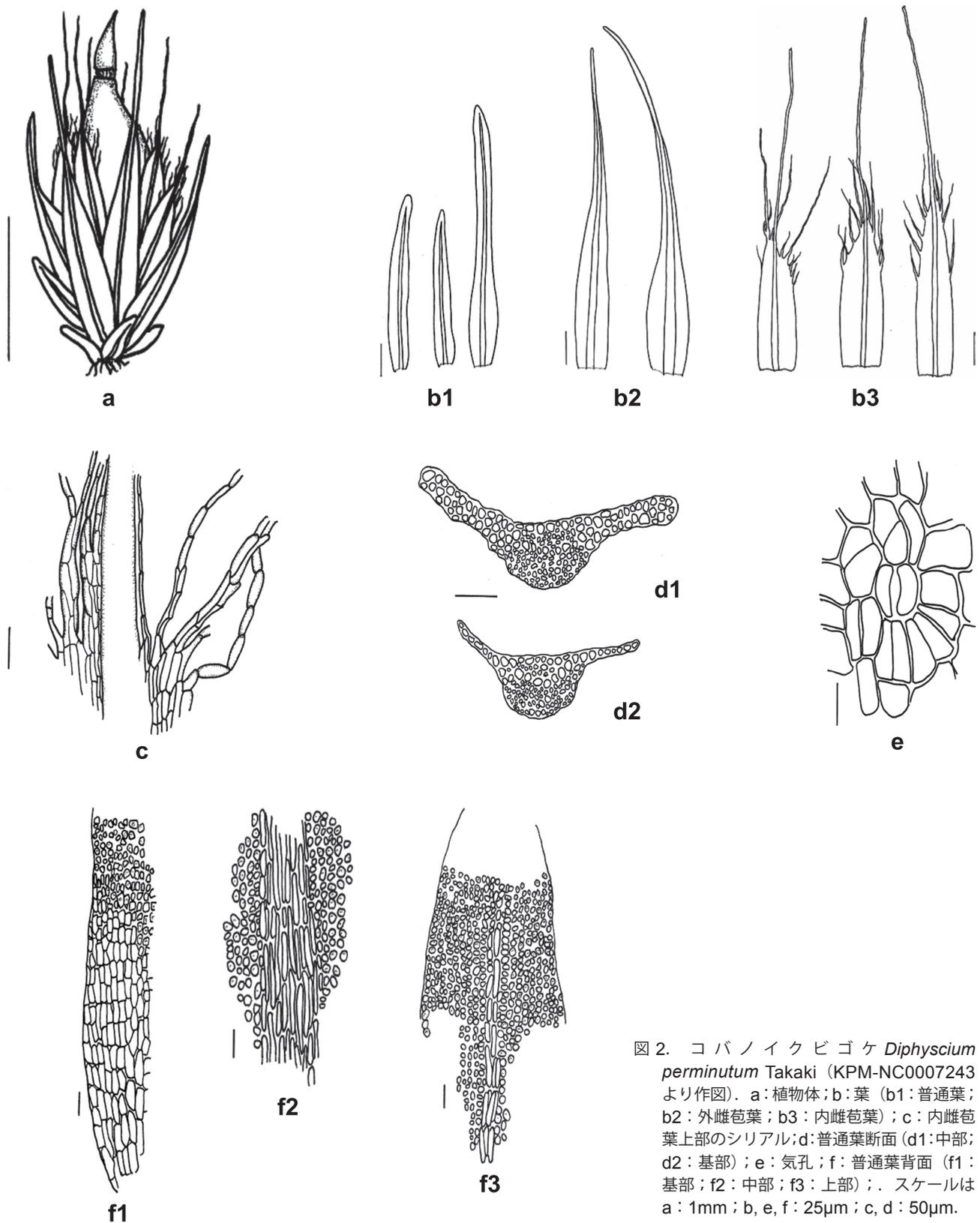


図2. コバノイクビゴケ *Diphyscium perminutum* Takaki (KPM-NC0007243より作図). a: 植物体; b: 葉 (b1: 普通葉; b2: 外雌苞葉; b3: 内雌苞葉); c: 内雌苞葉上部のシリアル; d: 普通葉断面 (d1: 中部; d2: 基部); e: 気孔; f: 普通葉背面 (f1: 基部; f2: 中部; f3: 上部); . スケールは a: 1mm; b, e, f: 25 μ m; c, d: 50 μ m.